宮崎県が、地元気象台と連携して作成中の竜巻に関する啓発資料（案）

資料4

平成20年2月22日
第3回
突風等短時間予測情報
利活用検討会　資料

竜巻災害とその対応

宮崎県

竜巻は甚大な被害をもたらします

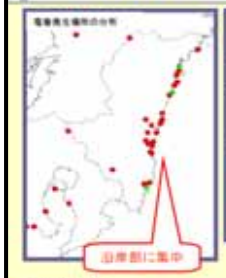
平成18年9月17日　台風第13号の接近にともなって竜巻が発生し、延岡市、日向市、日南市では甚大な被害となりました。

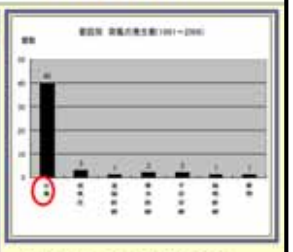
死者	3人	延岡市3
重傷	4人	延岡市3　日向市1
軽傷	147人	延岡市140　日向市6　日南市1
合計	154人	

被害を最小限にするためには・・・

- 竜巻発生の特徴を確認しておきましょう。
- 竜巻注意情報(H20.3.26から発表開始)に注意しましょう。
- 「竜巻」が間近に迫ったら・・・
  すぐに身を守るための行動をとりましょう。
  家屋被害を防ぐことは困難です。火災保険等を検討して下さい。

宮崎県で発生する竜巻の特徴

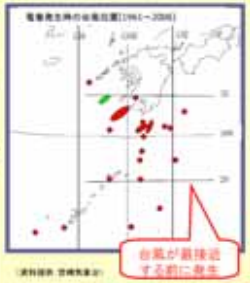




地域的特徴
●沿岸部で多く発生しています。

主な発生要因
●多くが台風に伴う積乱雲で発生します。

発生時期の特徴
●台風の中心が種子島や屋久島付近(宮崎に台風が最接近する数時間前)を通過する頃に発生しやすくなっています。
●発達した積乱雲の移動に伴って、複数の場所で発生することがあります。



「竜巻注意情報」で注意を呼びかけます

気象庁では、平成20年3月26日から竜巻発生の可能性に応じた段階的な情報発表を行います。

今までも…
竜巻や突風・ひょう等による被害が予想される場合には、「気象情報」や「雷注意報」を発表していました。

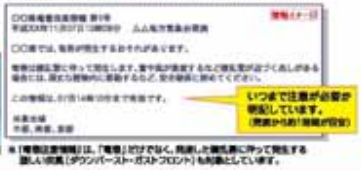
しかし、
「竜巻」の危険性については明記していませんでした。

情報発表のタイミング　これから

半日～1日前　「気象情報」発表
■「竜巻など激しい突風のおそれ」と明記します。

数時間前　「雷注意報」発表
■雷雲、ひょう等とともに、「竜巻」も明記します。

新設！
0～1時間前　「竜巻注意情報」発表
■今、まさに竜巻の発生しやすい気象状況になっていることをお知らせします。



※「竜巻注意情報」は、「竜巻」だけでなく、発達した積乱雲に伴って発生する激しい突風（ダウンバースト・ガストフロント）も対象としています。

現在の観測・予測技術では、竜巻等激しい突風の発生を事前に予測できない場合もあります。

（資料「竜巻から身を守る」気象庁　作成）

「竜巻注意情報」が発表されたら・・・

特に
・人が大勢集まる屋外行事
・テントの使用や、子供、高齢者を含む屋外活動
・高所、クレーン、足場等での作業
のように、安全確保にある程度の時間を要する場合には、早めの避難開始を心がけてください。

発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。

「発達した積乱雲の近づく兆し」とは…

以下のような状況になると、竜巻の発生するような発達した積乱雲が、あなたの周辺まで近づいている可能性があります。

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

「竜巻注意情報」の発表から約1時間は注意してください。
危険な気象状態が続く場合は、改めて情報を発表します。

（資料「竜巻から身を守る」気象庁　作成）

竜巻からの身の守り方

（資料「竜巻等突風から身を守る」内閣府・気象庁　竜巻等突風対策検討会　作成）

問い合わせ先
宮崎県　総務部危機管理室(防災企画担当)
TEL:0985－26－7066　FAX:0985－26－7304